

Makuhari's Memory

同じベクトルの仲間と「多文化共生の地域づくり」を目指して…

私は今回初めて市町村アカデミーの研修に参加しましたが、大変有意義な5日間を過ごすことができ、多くのかけがえのないものを得ることができました。

日頃から外国人住民が安心して生活するための環境づくりに取り組んでいましたが、この研修のテーマである「多文化共生の地域づくり」は「外国人支援」ではなく、「年齢や性別、国籍、障害の有無などにかかわらず、誰もが安心して暮らせる地域づくり」であることを改めて認識しました。また、他の自治体がどのような施策を行っているかを知ることができ、担当者レベルの悩みや経験なども共有することができました。

グループでの課題演習では各自の知識や知恵を出し合って、毎日夜遅くまで作業しました。偶然にもメンバー全員が女性で、女子会さながらの雰囲気楽しくわいわいしながらも、全員がより良い発表にしようと真剣に取り組みました。また、グループ座長はメンバーの意見を上手に取り入れながら、リーダーシップを発揮し

ていて、そのような進め方はとても勉強になりました。

今回、私自身、代表幹事という役割を担うことになり、初めは何をどうしたらよいかわかりませんでした。2名の副幹事をはじめ、参加者全員が良い人柄でいらしたおかげで、楽しい思い出がたくさんできました。

今後もこの縁を大切に、お互いに切磋琢磨しながら担当業務に取り組んでいきたいと思っています。最後に講師の方々や担当教授をはじめ、この研修でお世話になった皆様に感謝申し上げます。



小野 友佳里

秋田県秋田市
企画財政部企画調整課
〈受講研修科目〉
多文化共生の地域づくり
第29期第1組（平成27年度）

亦楽寮

「亦楽寮」、まさに「亦楽寮」というに相応しい9日間であった。この僅かな期間で、初めて会った128名が、文字通り「朋有り、遠方より来る、亦楽しからずや」を体感したのではないかな。

当初の目的は、住民税の実務に使えるノウハウを覚えることであった。しかし、研修に参加して、当初の目的に加え、ある思いが芽生えた。それは、ここに集った仲間と研修後もいつまでも助け合える、そんな関係を築きたいという思いだ。その思いは、講義、課題演習等を通して日増しに強くなっていった。

私が所属したC班は、特に課題演習に全力を尽くした。ほぼ毎日、演習室での課題演習で討議をし、さらにその後、ラウンジでも討議を交わした。また、別の班の方とも討議をし、満足な発表をすることができた。非常に有意義な時間となった。

まさに夢のような9日間であった。最初は慣れない環境に戸惑うことが多々あった。しかし最後の数日間は、

この研修が終わることが寂しく思えた。そう思えたのは、素晴らしい講師の先生方をはじめ、担当の榎本教授や小野里主査、アカデミーの職員の方々のおかげである。深く感謝している。

私はこの研修で、住民税に関する幅広い知識とかけがえのない仲間を得ることが出来た。この貴重な経験を、今後の仕事に生かせるよう努めていきたい。



山本 秀晃

高知県安芸市
税務課
〈受講研修科目〉
住民税課税事務
第29期第2組（平成27年度）

Makuhari's Memory

刺激的な研修生活

徴収事務に携わり、1年半。基本的な知識は身につけてきたが、日々業務をおこなうにあたり、自身が正しい対応をできているのか、悩み、疑問に思うことが多々ありました。滞納者との納税交渉の際に、「他の市町村では、こんな対応じゃなかった。」と言われることもあり、実際に他市町村ではどのような納税交渉・折衝や滞納処分をおこなっているのかを知りたいと思ったのが、今回の研修に応募したきっかけでした。

講義では、地方税の基本的な仕組みから納税折衝時のポイント、滞納処分の流れ等を経験豊富な講師の方々から、実例を交えつつ、ご教授いただきました。当市でおこなっていない取り組みや私自身が経験したことのない事案の対応等を学ぶことができ、とても刺激になりました。

グループ討議では、班員それぞれの市町村における対応や取り組みを具体的に知ることができました。発表に向けて、綿密に意見交換をし、ひとつの結論を押し出すという作業は大変ではありましたが、大変有意義な時間になりました。

また、講義や演習外の時間では、グループの班員だけでなく、さまざまな市町村の徴税職員と親交を深める

ことができました。徴収事務に関することからプライベートのことまで、心置きなく話せるかけがえのない仲間となりました。

今回の研修は私にとって、大変有意義な11日間となりました。今後は、この貴重な経験と他市町村の徴税職員の方々と築いたネットワークを実務に活かし、組織全体のレベルアップと徴収率の向上に尽力していきたいです。

最後になりましたが、講義や指導をしてくださった講師の方々や職員の方々、各市町村の先輩徴税職員の方々、快く研修に送り出してくださった職場の上司や同僚に心から感謝申し上げます。



池上 奈津美

高知県高知市
財務部税務管理課第二納税係
〈受講研修科目〉
市町村税徴収事務
第29期第2組（平成27年度）

かけがえのない充実した研修期間

平成26年4月に弘前市に採用され都市政策課に配属になり2年目、初めての11日間に及ぶ長期間の市町村アカデミー研修。

そのような私が、「魅力ある地域づくりのために～フィールドワークで学ぶまちづくり～」と題した研修に参加した当初の目的は、行政職員としてどのような視点を持ってフィールドワークを行うか、そしてフィールドワークを行った成果をどのように整理し、施策として実行に移していくか、そういった手法を学ぶことでした。

ところが、実際に学んだ内容からすると、良い意味で期待を裏切られた研修だったと強く思います。

もちろん、先述の目的は十二分に達成しましたが、まちづくりに関連する業務は多岐にわたること、住民との協働によるまちづくりを行うための方策、地域の魅力等を発見するためのSWOT分析、コンパクトシティや魅力的な景観づくりを推進するための方策などについて、その道のプロである講師陣から、たくさんのことを学べました。これ以上ない素晴らしい貴重な研修だったと実感しています。

さらに、本研修にグループワークもあることから、発

表資料の分かりやすい作成方法やプレゼン方法も学ぶことができ、グループ内での討議等（懇親会も含む）を通じてコミュニケーション能力も向上したと実感しています。

最後に、市町村アカデミー職員の方々、講師の皆様、そして市町村アカデミーに参加された全国の市町村職員の皆様には、貴重な機会をいただき本当に感謝しています。本研修で学んだ内容を、必ず業務にフィードバックさせ「“まちづくり”行政」に対して気を引き締め、取り組みたいと思っています。



蝦名 達朗

青森県弘前市
都市環境部都市政策課
〈受講研修科目〉魅力ある地域づくりのために～フィールドワークで学ぶまちづくり～
第29期第1組（平成27年度）